

# 令和8年度 西多摩郡公立小学校長会

## I 活動方針・重点事項等

行政の枠組みは異なるが、2町1村の相互理解を深め、組織的な連携・協力を大切にしながら教育課題について協議し、その解決にあたる。各町村教育委員会や多摩教育事務所、西多摩地区の他の校長会との連携強化のために綿密な連絡を取り合う。特に各町村教育委員会と校長会との絆を強固なものとし、地域の諸課題を前向きに受け止め、現場の責任者として円滑な教育行政が推進できるよう努める。

- ・教育格差の是正に努めるとともに、都へき地研の活動にも参加し研究を深める。
- ・西多摩地区の特色に応じた教育課程の在り方を協議し、各校の実践の参考にする。
- ・働き方改革および人材育成の在り方を話し合い、各地区の現状に合わせた取組を実施する。
- ・GIGAスクール第2期の推進状況に関する情報を交換し、各地区の現状に合わせた取組を実施する。

## II 活動・取組

本会は「西多摩郡小学校教育の振興」を目的として、次の活動を行う。

- (1) 2町1村の教育委員会と連携した定例会と研修の実施
  - ・定例会は日の出町教育センターを中心に、2町1村の役場等の公共施設を使用して開催する。
  - ・教育長その他講師の講話による研修を実施し、学校の経営改善に反映させる。
- (2) 2町1村合同での連合音楽会及び図工展の開催
  - ・2町1村合同で連合音楽会および図工展を開催し、児童の発表および鑑賞と交流の機会を設ける。
- (3) 隔遠地校の特色ある運営や課題の解決
  - ・隔遠地校としての教育振興、教育環境や勤務条件の向上、また隔遠地校研究協議会との連携に関する事等に取り組む。
- (4) 会報「対話」の発行
  - ・当該年度の活動成果や会務報告等を掲載した会報を年度末に発行し、各教育委員会等に報告する。
- (5) 組織的な業務分担
  - ・各種活動調査・研究、連合行事、「多摩の子」（西多摩地域作文集）、人権教育、隔遠地校等研究協議会など、すべての校長が対外的な関係諸機関の担当を分担して組織的に活動する。

### 【校長会の組織】

会長	乙津 秀敏	(奥多摩町立古里小学校)
副会長	森田 哲生	(日の出町立平井小学校)
副会長	原田 勉	(日の出町本宿小学校)
庶務	佐藤 栄太郎	(日の出町立大久野小学校)
会計	下川 耕史	(檜原村立檜原小学校)
調査研究	小林 亮介	(奥多摩町立氷川小学校)
会計監査	原田 勉	(日の出町立本宿小学校)
都幹事	森田 哲生	(日の出町立平井小学校)

## III 地区の特色

本校長会は、日の出町・檜原村・奥多摩町の2町1村の小学校6校で構成している。3町村の児童数は6校合わせて約千人程であるが、その面積は約360km<sup>2</sup>におよび、東京都のおよそ6分の1を有している。

広大な学区域の多くは山間・丘陵部にあり、豊かな自然に囲まれている。地域内には「日の出町 つるつる温泉」「檜原村 払沢の滝」「奥多摩町 奥多摩湖」などの豊かな自然環境や、独自の歴史・文化・施設を有している。また、東京でありながら山間地や遠方に位置する学校が多く、少人数だからこそできる、地域と一体となった温かみのある教育環境が広がっている。

